

## 第5回富山県入札契約適正化検討委員会 議事概要

日時 平成20年2月21日(木) 10:00~11:25

場所 県庁4階大会議室

出席者 委員 西頭委員(委員長)、安部委員、柿澤委員、神川委員、佐野委員、  
杉原委員、山本委員

県 埴生土木部長、前田管理課長、安久建設技術企画課長、滝川営繕課長、  
石田農林水産部次長、城木農林水産企画課長、遠藤耕地課長、  
人母企業局経営管理課長 他

### 1 議題

- (1) 一般競争入札の対象範囲について
- (2) 総合評価方式について
- (3) 地域要件について
- (4) ペナルティの強化について

### 2 主な意見

#### ○一般競争入札の対象範囲について

- ・ 一般競争入札の対象範囲については、拡大してから日が浅いため、急いで見直す必要はないのではないか。
- ・ 土木業者の破産件数が他の業種と比べると多い。一般競争入札との因果関係については分からないが、公共事業の減、市町村合併に伴う受注の減がその要因でないか。
- ・ 一般競争入札の拡大がもたらした影響に関する他県の事例、因果関係について、今後調査分析する必要がある。

#### 【審議結果】

- ・ 発注までの日数や事務処理時間の短縮に向けた対策を検討、試行するとともに、地域への影響等を十分検証しながら、引き続き検討する。

#### ○総合評価方式について

- ・ もう少し試行を続けながら、効果を見極めていくことも必要ではないか。
- ・ 総合評価方式の拡充に向けて、中期的な目標を示すことを検討していく必要がある。それが発注者と業者双方の努力を促すことにもつながる。

#### 【審議結果】

- ・ 事務の効率化、迅速化に取り組み、試行を継続する。

#### ○地域要件等について

- ・ 地元建設企業がバランスよく存続していくことは重要であるが、地域要件を狭く設定するとお互いの顔が見えるようになり、談合につながりやすいのではないか。
- ・ 談合防止については、ペナルティの強化で確保できればよい。
- ・ 競争性、透明性の向上と地域の安全・安心の確保とのバランスをとりながら、良質な社

会資本整備を進める上で、地域要件や総合評価方式は、一般競争入札を補完する役割を果たしている。

【審議結果】

- ・ 見直し案のとおり実施する。

○ペナルティの強化について

- ・ 特になし。

【審議結果】

- 見直し案のとおり実施する。

(以上)